



2024～25 年度国際ロータリー・テーマ
RI 会長：ステファニー A.アーチック（米国）

鹿屋西ロータリークラブ週報

WEEKLY REPORT

NEWS

<https://kanoya24-rc.synapse.kagoshima.jp>

ROTARY 第2124回



2025 年 3 月 3 日

◆ゲスト紹介

鹿屋市役所 農林商工部 ふるさと PR 課
観光 PR 係 櫛間 崇史 様

◆ビジター紹介

【かのや東ロータリークラブより】

創立 40 周年実行委員長 田中 穂積 さん
会 長 木浦 等 さん
幹 事 久留 正嗣 さん

◆会務報告

1. 水と衛生月間 リソースのご案内
2. RI 日本事務局財団室 NEWS 2025 年 3 月号
3. 次年度（2025-26 年度）雑誌委員長への『友』誌送付について
4. バギオだより 2025 年 3 月号
5. 国際ロータリー第 2730 地区 会長エレクト研修セミナー 分科会「テーマ」についてのご案内
6. 令和 7 年春の「郷土に学び・育む青少年運動」の実施について（依頼）
7. 地区賦課金・過入金について
8. 2024-25 年度ガバナー主催ロータリー奉仕デー「自殺予防シンポジウム」ご参加のお礼と You Tube のご案内
9. 第 5 回 会長・幹事会開催のご案内
日時：3 月 29 日(土)18:30～
場所：焼肉しろやま
10. 例会変更のお知らせ（南九州大崎 RC）
13 日(木)⇒17 日(日)職場訪問の為
大崎町役場(議会傍聴) 時間未定
20 日(木)祝日週休会
27 日(木)観桜会 中沖公民館 時間未定

◆3 月誕生者祝

鶴丸秀治さん
中原浩一さん



◆3 月メモリアルデー祝



山崎隆夫さん、内田秀行さん、上谷田浩幸さん
早川雅子さん、峯崎美千代さん、深水嘉寿さん
竹之内義文さん、西ノ原庄一さん、野添幸祐さん

◆出席表彰（皆勤）

中原浩一さん
11 年皆勤



ご挨拶

創立 40 周年記念大会のご案内（かのや東 RC）



田中実行委員長

木浦会長

久留幹事

次回プログラム		
3 月 2 4 日 (月)		
卓 話 者： 深水 嘉寿 さん		
担当委員会： 米山記念奨学委員会		
3 分間スピーチ： 梅北 健一 さん		
会 員 数	(39) 41 名	
出席報告 出 席 数	32 名	
出 席 率	82.05 %	

メイクアップ情報		
鹿 屋	03 月 12 日	(木) 鹿屋市下水処理センター 12:30 職場訪問例会
かのや東	03 月 13 日	(木) かのやランドホテル
串 良	03 月 10 日	⇒ 9 日(日) 8:00～有明町総合体育館
志 布 志	03 月 11 日	(火) 大黒本店 第 2 週: 理事会 例会無し
き も つ き	03 月 13 日	(木) 高山温泉 ドーム
南九州大崎	03 月 13 日	⇒ 17 日(月) 大崎町役場 職場訪問 時間未定
志布志みなと	03 月 12 日	(木) 志布志市役所本庁 1F 19:00～合同例会

鹿屋西ロータリークラブ	
会 長：	鶴丸 秀治
副会長：	王谷 英仁
幹 事：	假屋 博行
例会日	月曜日 12:30～13:30
例会場	ホテルさつき苑 TEL: 40-1212
事務局	〒893-0064 鹿屋市西原 1 丁目 9-10
	ホテルさつき苑内 TEL: 44-5811 FAX: 41-1959
E-mail	kanoya24@po5.synapse.ne.jp



会長の時間

会長 鶴丸秀治さん

水と衛生月間

毎月第一例会でロータリーの特別月間についてお話させていただいていますが、3月は「水と衛生月間」です。いろいろ net で調べてみましたが、わかりやすい動画が見当たりませんでした。世界でどのような活動がなされているのか、一部をまとめてみましたので、御覧下さい。

現在日本では水道から直接飲めるのが当たり前ですが、台湾でさえ、生水は水道から直接は飲めないとのことですので、海外では水の確保に苦しんでいる地区も多くありますのでロータリーの活動の一部をご紹介します。ロータリー財団のグローバル補助金の支援を受け、エクアドルのポリバルにあるグアランダ・ロータリークラブは、ドイツのヴェルバート・ロータリークラブと協力し、コチャンパンバの住民に安全な水を提供するための水システムを支援しました。

補助金は、設備、備品、プロジェクト管理費に充てられます。それではご覧下さい。

清潔な水の入ったグラスを手に持つエルチュニノ校の生徒たち。ロータリーはグローバル補助金を通じて、グアテマラにある九つの学校の水と衛生設備を改善しています。この学校では現在、清潔な水が使えるようになり、新しい手洗い場、トイレ、浄化槽、排水設備が設置されています。2013年5月です。

地域の水と衛生委員会の主催者がトイレを視察する様子です。全国35クラブのロータリー会員が米国国際開発庁、ガーナ政府などと提携し、第6380地区(米国ミシガン州、カナダ、オンタリオ州)の支援を得て、地域社会と協力して取り組んでいます。2018年11月

ナイジェリアのある地区の住民は、ロータリーが資金提供した太陽光発電の井戸水供給システムの水を利用しています。2019年4月です。

ガーナ、ボペーゼにて、国際ロータリーとUSAIDのパートナーシッププロジェクトを通じて地域に寄贈されました。全国35クラブのロータリークラブ会員が、USAID およびガーナ政府の国や地方機関と協力し、75,000人を対象とした400万ドル(日本円で約6億円)の大規模な水・衛生・保健に関するプログラムに取り組んでいます。



2019年6月

地域の人たちに浄水器を配る、ブラジルのピアウイ州のロータリークラブ会員たち。粘土でできたこのタイプのフィルターは、細菌を除去すると同時に保冷にも優れたシンプルで効果的な家庭用浄水システムです。2022年3月



駆け足でのご案内となりましたが、今月の特別月間について終わりにさせていただきますが、今連日報道されているニュースをこれから流したいと思います。これは昨日3月2日昼過ぎの分です。それではご覧下さい。

大船渡といえば東日本大震災が起こった2011年、その夏休みには鹿屋西ロータリークラブが、大船渡のサッカースポーツ少年団を鹿屋にお招きし、芝生のグラウンドで思いっきりサッカーを楽しんでもらおうというビッグプロジェクトがありました。当時、各学校やグラウンドのような場所はすべて仮設住居が並んでおり、サッカーができる環境ではありませんでした。

当時の方々が気になり、当時のメンバー小西さんに電話してみました。それによると、このところまったく雪も雨もふらず乾燥しきっているとの事でした。大船渡の中心市街地の左下が奇跡の一本杉で有名だった陸前高田市です。山火事の地域は市街地の右側にあたり偏西風が画面では左から右に強い風が吹いているため、中心市街地は安全だということでした。

こちらは少年団のキャプテンと当時幹事の前田数郎さんです。若いですね！



現在、幹事のカリヤさんのお父さんです。懐かしい顔ぶれですね。

こちらは少年団の監督の田中さんと私です。



こちらは震災後大船渡の市会議員になられた船戸さんです。

こちらは3日前に電話した小西さんです。

小西さんによると、監督コーチほか皆さん大丈夫とのことでしたが、なんと当時鹿屋に来たときは小学生だった息子さんが、25歳になり結婚して2世帯同居しているとのこと。息子さんご夫婦ともに介護関係の仕事をしており、充実した生活を送っていらっしやるようでした。



こちらは最後に空港でお見送りした時の写真です。右側一番手前には志村先生、前田数郎さん、後ろの列真ん中に窪田さん左端に私がおります。なんかみんな若くて、年月を感じますが、今でも西ロータリーは最も尊い活動のひとつをやり遂げた！という誇りを持って活動しています。



最後に私たちと御縁のあった大船渡の方々には被害がなかったことと、当時の会長窪田さんと大船渡の小西さんのなつかしい感動的な写真を最後にしたいと思います。ご清聴ありがとうございました。



ゲスト卓話

鹿屋市役所 農林商工部
ふるさとPR課 櫛間崇史様



戦後80年未来へ繋ぐ鹿屋の記憶

—語り継ぎたい鹿屋の太平洋戦争—

鹿屋市農林商工部ふるさとPR課 観光PR係

講師紹介



ふるさとPR課 主任主事

櫛間 崇史

KUSHIMA

TAKASHI

1983年7月8日生まれ(41歳)
東京 ⇒ 千葉 ⇒ 鹿児島市
鹿屋市 ⇒ 鹿児島市 ⇒ 鹿屋市
◆趣味・特技 ピアノ演奏

塾講師時代(11年)



H29入庁
商工振興課
⇒政策推進課(広報)
⇒



現在のお仕事

ふるさとPR課 観光PR係

戦跡保存活用事業

この前はサンシャイン池崎氏とプロモーションビデオを録る仕事もしました。



鹿屋の特色1 鹿屋会談

旧鹿屋航空基地内にあった1ビルにて、真珠湾での攻撃作戦が検討されました。



山本 五十六
司令長官



大西 瀧治郎 参謀長



源田 實 少佐

鹿屋の特色2 第5航空艦隊司令部壕跡

日本本土を守るため、沖縄への攻撃などを行う部隊として1945年(昭和20年)2月に作られ、その中心部が鹿屋に置かれました。



※民有地のため、通常見学はできません。

鹿屋の特色3 特別攻撃隊戦死数



- 太平洋戦争末期に、日本軍の巻き返しを図るため、特別攻撃隊が航空機などで体当たり攻撃により、多くの有能な若者が亡くなりました。
- 鹿屋では1,271名の多くの命が失われました。

鹿屋908名 知覧（陸軍）439名
国分427名 赤江（宮崎）385名
串良363名

鹿屋の特色4

桜花が唯一飛び立った地



鹿屋の特色5 高須へ進駐軍上陸



（年）9月4日、
結後の間も
本土に進駐
軍人が高須の

市内の戦跡① 串良基地跡地下壕第一電信室

串良地下壕第一電信室

- ▷地下壕第一電信室は、当時海軍航空串良基地の電信室として、特別攻撃隊員の最後の通信を受信して、本部に連絡していた。
- ▷部屋はコンクリート製で、大小2つの部分に区切られている。
- ▷2015年、市の文化財に指定・整備
- ▷現在9：00～16：00で地下壕の中を見ることができる。
- ※年末年始を除く。



市内の戦跡② 川東掩体壕

川東掩体壕について

- ▷2015年、市の文化財に指定・整備
- ▷コンクリート製で上に土を盛り、芝を植え、小山のように見せかけた。
- ▷この中には当時、零式艦上戦闘機が入られていたと言われている。
- ▷戦時中、コンクリートには不ぞろいな河原の自然石などが混ざられました。



市内の戦跡③ 2つの慰霊塔

串良平和公園



- ▷1969年10月建立
- ▷毎年10月中旬に追悼式を実施



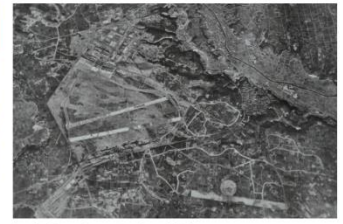
- ▷上空から見た串良基地
- ▷2つの滑走路は今も残る

市内の戦跡④ 2つの慰霊塔

小塚公園



- ▷1969年10月建立
- ▷毎年10月中旬に追悼式を実施



- ▷上空から見た鹿屋基地
- ▷特攻隊の中心基地として壊滅的な打撃
- ▷同じ場所に現在自衛隊がある

市内の戦跡⑤



戦後80年と今後の使命



戦後生まれの世代が人口の約80%
貴重な戦争遺跡の荒廃
戦争体験者の高齢化
鎮火しない世界の争い

時代の
要請

かのやの歴史を通
して、戦争の悲惨
さと平和の尊さを
世界に伝える

戦跡事業これまで（H28～）

戦争遺跡の調査・保存・活用

- 資料・情報収集
 - ・米国国立公文書館の資料収集
 - ・体験談等の収集
 - ・戦後75年平和パネル展～鹿屋の記憶～の開催



- 市指定文化財への指定



- どっ菜市場看板の整備
- 笠野原滑走路跡の展示



戦跡事業これまで（H28～）

ソフト事業に関すること

- 平和学習ガイド認定 31名
- 体験談等の資料収集・体験談の整理
- 平和の花束・シンポジウム実施
【教育委員会・空つな協議会】
- 特別攻撃隊戦没追悼式の開催
【福祉政策課・串良総合支所】



- 空がつなぐまちひとづくり推進協
議会でのネットワーク作り
- 戦跡紹介映像の制作
- 戦争遺跡VRの制作
- マンガ本の制作



戦後80年事業に向けた取組

戦後80年企画展の開催を令和7年夏に検討

鹿屋の戦争をテーマにした創作演劇の公演

戦争体験談集・映像などこれまで集めた資料の活用

空がつなぐまち・ひとづくり協議会連携による広域的な取組の推進



最後に・・・

歴史を知る・存在する意義とは？

- ・「過去を未来に伝えたい」という
想いのバトン
- ・立場や見方によって**色々な考え方**
がある



◆スマイル報告

〈 10 件 〉

- 本日は貴重な例会時間をいただき、本当にありがとうございました。4/12、皆様のお越しを心からお待ちしております。……………（かのや東 RC）木浦さん
- 2月24日に鹿屋西ロータリークラブ新春ゴルフコンペを開催しました。ゲスト3名含む15名4組で実施することができました。ショートホールのアトラクションの分をスマイルします。次回も多くのご参加をお待ちしています。……ゴルフ同好会 久永
- メモリアルデーお祝いありがとうございます。結婚44年になりました。……………山崎（隆）
- メモリアルデーありがとうございます。……上谷田
- 平和の花束での台湾派遣ありがとうございます。龍潭クラブの皆様の暖かい歓迎を受け無事帰国いたしました。ありがとうございます。…中原
- メモリアルデーありがとうございます。3月1日で会社設立40年です。頑張ります。……………峯崎
- メモリアルデーありがとうございます。これからも末永く幸せに生活したいと思います。……………深水
- 櫛間様、卓話ありがとうございました。かのや東 RC の40周年記念式典が成功裡に終わりますようお願いしています。……………假屋

○先日のゴルフ同好会新春コンペで息子がお世話になりました。ニコニコスマイルにしっかり貢献したようです。……………一村

○メモリアルデーのお祝いありがとうございます。感謝の気持ちを忘れずに毎日を過ごしていきたいと思います。……………野添

本日計 44,000 円 累計（一般）226,000 円

（財団）130,581 円 （米山）141,451 円

******* ありがとうございました *******

ロータリーニュースより

ロータリー平和会議：分断された世界を癒す

ロータリー会員、平和フェロー、学友、ゲスト講演者がイスタンブールに集まり、平和構築の課題について話し合う

2月20～22日、トルコのイスタンブールで、ロータリーのステファニー・アーチック RI 会長が主催する平和会議が開催されました。「分裂された世界を癒す」ことに焦点が置かれたこの会議で、アーチック会長は、平和を築くには、思慮に富んだ持続的な取り組みと意義あるパートナーシップが必要だと述べました。冒頭の挨拶で、アーチック会長は、真の癒しを実現するために必要な献身について述べました。

「私たちがここで一緒に過ごす時間は、平和構築に対する私たちの信念を物語るものです。しかし、重要なことを認識しましょう。『分裂された世界を癒す』という行為は、即座に、または簡単に達成できるものではなく、時間をかけて、意図的に取り組んでいく必要があります」

会場では、さまざまな背景をもつ参加者が、その取り組みがどのようなものになるかを語りました。テクノロジーとメディアに焦点を当てたセッションでは、テクノロジーが平和と紛争の両方を強める可能性について議論が行われました。また、人工知能の影響、テクノロジーで平和構築活動を強化する方法、そして誤った情報の脅威について取り上げられました。受賞歴のある映画制作者で、PeaceTech Lab 創設者であるシェルドン・ヒメルファーフ氏は、誤情報に対するグローバルな対応を構築することを平和構築者たちに呼びかけました。同氏は、誤情報がもたらす危険性は、戦争、パンデミック、気候変動に匹敵するものだと主張しました。

「誤情報は、非常に深刻で広範囲にわたる問題であり、急速に地球の存続を脅かすものになりつつあると私は考えています。幸い、この問題に取り組む人びとは日々増えており、事実確認のためのツール開発、コンテンツのラベル付け、メディアリテラシー、平和構築のための AI などに取り組んでいます」

週報担当：西ノ原